

# SKIPシティC1街区施設 整備方針

川口市経済部

令和4年5月

SKIPシティC1街区施設については、SKIPシティ利活用基本計画に基づき整備するもので、「映像関連産業と事業者支援機能が集まる賑わいのあるまちの形成」の開発コンセプトのもと、産業振興に資する次の機能を有する複合施設を整備するものである。

- ①ワンストップで各種産業支援を受けられるビジネスサポートセンター
  - ②市内企業や団体の展示会や商談会が開催できる多目的コンベンションホール
  - ③本市の産業の成り立ちを紹介するとともに次世代の就労者を創出する産業資料館
- 以下、SKIPシティC1街区施設の建設に係る基本的かつ重要な事項を定める。

## 1 設置場所

川口市上青木4丁目13番2の一部

## 2 敷地条件

- (1) 面積 約11,000㎡
- (2) 用途地域 第二種居住地域
- (3) 建ぺい率 60%
- (4) 容積率 200%

## 3 施設条件

### (1) 建物概要

- ア 用途 事務所、コンベンションホール、産業資料館
- イ 構造 指定なし（ただし防火性能を考慮した仕様とすること）
- ウ 延床面積 7,000㎡以内

### (2) 屋外施設概要

- ア 屋外駐車場 80台程度
- イ 屋根付駐輪場 90台程度

### (3) 電気設備概要

エレベーター設備、電灯設備、動力設備、受変電設備、構内交換設備、構内情報通信網設備、拡声設備、インターホン設備、テレビ共同受信設備、放送設備、自動火災報知設備、防犯カメラ装置(敷地入口、建物入口の警戒)、その他必要な電気設備一式

### (4) 機械設備概要

空気調和設備、衛生器具設備、給水設備、排水設備、給湯設備、ろ過設備（雨水再利用設備）、消防設備、換気設備、ガス設備、その他必要な機械設備一式

#### 4 建設条件

- (1) 工事費 25億円以内（建築・設備・電気含む）
- (2) 工期 令和6年7月～令和7年12月末（予定）

#### 5 想定職員数

- (1) 執務室1 120人
- (2) 執務室2 10人
- (3) 執務室3 7人
- (4) 執務室4 3人

#### 6 一部供用開始予定年月

令和8年2月

#### 7 基本理念

本市の産業振興・産業発信拠点として、まちの一体感と利用者・地域住民に愛される施設

#### 8 施設利用者

- (1) 執務室職員
- (2) コンベンションホール及び産業資料館利用者
- (3) その他一般市民

#### 9 施設のあり方

##### (1) 全体

- ア 周辺環境と調和した建物とすること。
- イ 騒音、振動、照明、空調、匂い、プライバシー等について周辺環境を配慮するとともに、明るい印象を与える建物とすること。
- ウ イニシャルコスト、ランニングコストについて十分配慮した効率的な建物とすること。
- エ 施設用途を踏まえ、使いやすさに最大限配慮すること。
- オ 環境負荷の軽減や雨水流出抑制に配慮した建物とすること。
- カ 防犯・防災対策やバリアフリーに配慮し、職員及び利用者等の安全・安心な環境を確保すること。
- キ 性別・年齢・国籍・心身の特性を問わず、利用者が快適に利用できるよう工夫すること。
- ク 歩道や駐車場からのアプローチのしやすい建物とすること。
- ケ 周辺道路を渋滞させないための自動車動線を工夫すること。
- コ 隣接地に配慮した配置、外構計画とすること。

(2) ビジネスサポートセンター

ア 産業支援団体のオフィスや市の産業支援機能を集積させ、各サービスをワンストップで利用できる環境を整備する。

イ 執務室

(ア) 明るく開放的で視認性が高く、職員コミュニケーションを円滑化するオープンな空間とすること。

(イ) 利用者が必要な手続きをできる限りまとめて行うことができる等、利用者の利便性に配慮したものとする。

ウ 会議室

大規模な会議室は、利用人数や用途によって規模を柔軟に変更できるものとする等、限られたスペースを有効活用できるようにすること。

(3) コンベンションホール

ア 展示会、商談会及びイベント等ができる多目的な利用を想定した施設とする。

イ 照度や防音性を十分に確保すること。また、映像等の配信設備を確保すること。

ウ 天井高は5～7mとし、情報コンセント、イス机等の備品収納庫、スクリーン、プロジェクターを設置すること。

エ 可動式間仕切りで3室に分割可能な仕様とすること。

オ 無柱空間とし、荷重に耐えられる仕様とし、床の仕上げは耐荷重用とすること。

カ 飲食を提供できるよう、厨房機能を設けること。

(4) 産業資料館

ア 市産業に関する資料や市産品を展示する空間とすること。

イ 産業の歴史や製品製作の工程などを映像でも見られるようにすること。

ウ 見学に加え、体験ができるようなスペースを確保すること。

エ 資料の保管のための倉庫を有すること。

オ 資料館内部の整備や運営にあたる関係機関等と調整し、設計をすること。

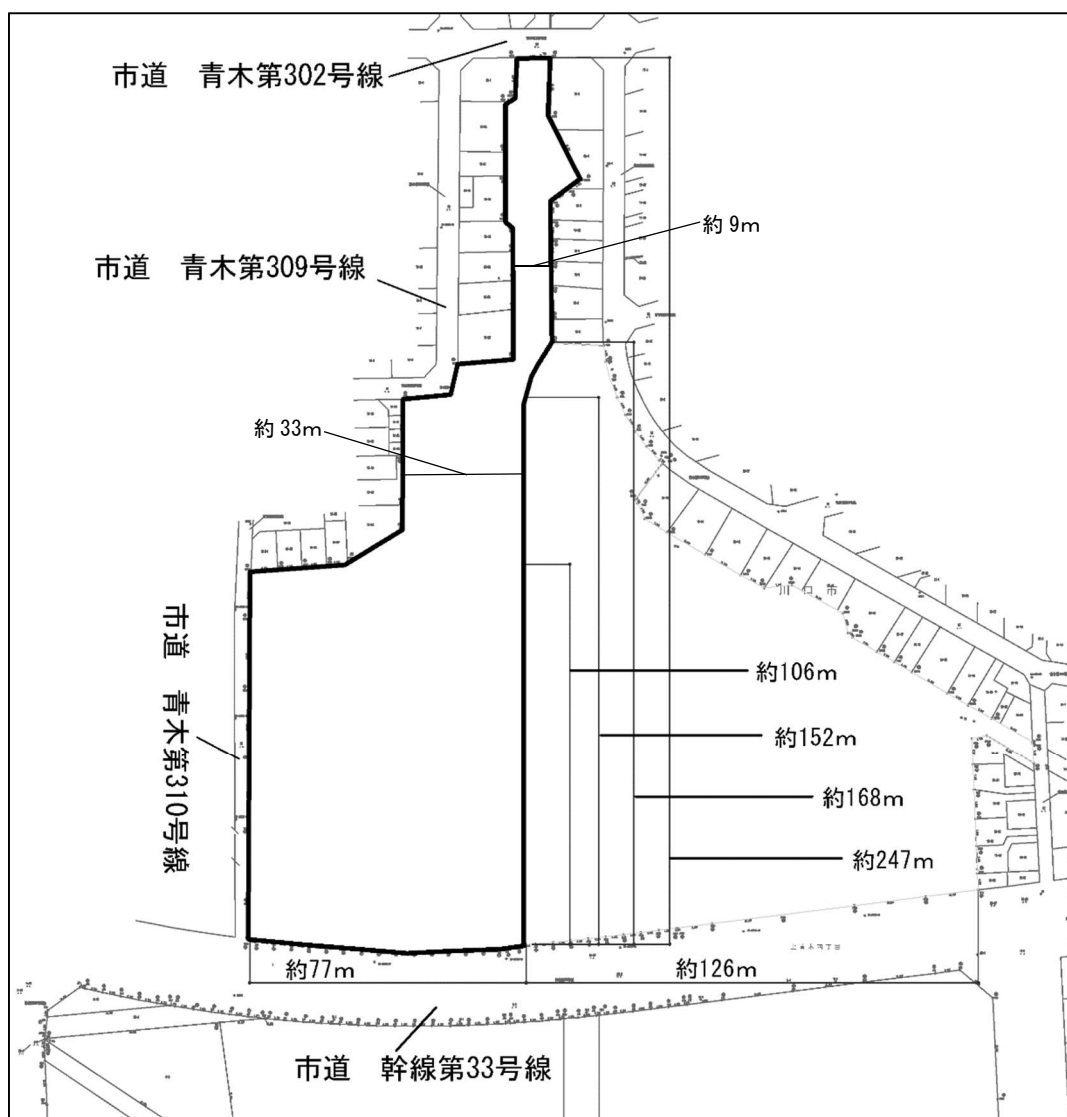
10 機能及び面積（想定）

エリア	諸室	面積 (㎡)	定員 (人)	備考
執務室エリア	執務室1	800	120	
	執務室2	50	10	
	執務室3	35	7	
	執務室4	25	3	
	会議室1	400	100	・可動式間仕切りで2室に分割可能とする。 ・入居者使用。無柱。
	会議室2	180	60	入居者使用
	会議室3	60	20	入居者使用
	トイレ・給湯室			トイレは男女用に加え、多目的トイレを設置すること。
	倉庫・機械室			オフィス規模に対して適切な面積を確保すること。
コンベンション ホールエリア	ホール	770		・商談会や展示会を開催。 ・天井高5～7m、壁防音仕様。 ・搬入車両専用出入口を設けること。
	受付兼クローク			
	事務室	30		
	控室1	30		
	控室2	30		
	倉庫1			コンベンションホールで使用する、椅子・机や機材等を収納。
	倉庫2			
	倉庫・機械室			
	厨房			
	廊下			
	計	1,500		コンベンションホールエリア全体で1,500㎡程度とすること。ホワイエを設ける際は、エントランスロビーや産業資料館ロビーと共有も可。
産業資料館 エリア	展示室			天井高5m
	事務室兼受付			
	保存用倉庫			展示物を保管・保存するための倉庫。搬入車両出入口を設けること。
	給湯室			
	計	1,500		産業資料館エリアで全体で1,500㎡程度とすること。
その他	エントランスロビー			ホールと資料館共有。 各施設や野外との連続性を持たせ、イベントの開催等にも対応可能とする。
	階段、EV、EVホール			
	トイレ			コンベンションホール、産業資料館利用者共有可。トイレは男女用に加え、多目的トイレを設置すること。
合計				建物全体で延床面積を7,000㎡以内とすること。

※1 面積を記載している部屋は概ねこの広さとし、その他の部屋と合わせ、全体の面積の範囲内で設定すること。

※2 備品は工事に含まない。

## 1 1 建設予定地



## 1 2 建設スケジュール

- 設計（基本・実施）・・・ 令和4年8月中旬～令和5年12月28日（木）
- 建設工事・・・・・・・ 令和6年7月～令和7年12月末（予定）
- 一部供用開始・・・・・・・ 令和8年2月（予定）